

大人

ほ
き
め
た
る
え

「校訓とともに」

じぶんから みんなと いっしょうけんめい

子ども

毎日
おみ
やげ長崎市立外海黒崎小学校
令和6年度学校だより
令和6年11月29日(金)
校長 溝川 浩

～冬到来です～

今年も寒さが戻ってまいりました。県内予報で雪マークを見ることもしばしば。冬には冬の楽しみがありますが、この時期になると、どうしても炬燵(こたつ)が恋しくなるのは私だけでしょうか。

学校では、エアコンを効かせ快適な環境下で授業を受けることができ、今日の子どもたちの過ごし方改革は劇的に変わりました。一方で、晴れた日の昼休みには、運動場で走り回る児童の姿が本校でも見られます。2学期も残り1か月。よりよく学び遊ぶ中で成長を促してまいります。

～冬休みには課題をしっかりと出します～

自由を得る長期休業はだれでも楽しみであるものです。一方で、子どもにとっては自立のために大切な「責任を果たす力を鍛える期間」でもあります。

夏休み同様、担任から各学年児童に対しては冬休みにも課題を与え、家庭で決めた時間に机に向かうようにしてもらいます。

家庭学習の習慣化を長期休業前に定着させるようお願いいたします。(ほとんどの子が習慣済のようです)

～これからの感染症には十分ご注意ください～

これまで何種もの感染症を私たちは経験してきました。共通して「正しく恐れる」が合言葉です。

とりわけ12～2月は受験シーズン。ご家族、ご親戚にシーズン真っただ中の方はいらっしゃいませんか。受験前や受験当日に受験生の罹患は避けたいものです。人生に影響します。

近しい受験生にも影響を及ぼすことがないよう、これまで身につけた正しい防止の取組に努めてまいりましょう。

～このところ事故・事件・火事が多いです～

本県においても事故や火災で命を落とす出来事が多いように感じます。なりすましも・・・。

来週から師走。何かと慌ただしくなる時期です。落ち着いた運転、火の正しい取扱いに心がけ、事故・火事〇で過ごしたいものです。

ないとは思いますが、子どもを自宅に一人で過ごさせるなどのリスクを〇にしていだくようお願いいたします。

地域とともにある学校(紹介)

★十五日 ふるさと遠足無事終了 8人の住民・施設・行政ガイドの皆様にご感謝です

当日朝は雨模様でしたが、予報を踏まえ実施しました。これまでの遠足行事と異なり、学ぶ意義に厚みと深みを持たせ、自分たちが住む町について語ることができる子どもをこれから育ててまいります。職員とともに「やってよかった」の共通成果が得られました。今後は保護者の皆様にもトレーニングも兼ね、一緒に参加いただけたらと思います。

★十七日 環境整備ありがとうございました

保護者二十人、児童十三人に加え、協議会委員参加のもと、玄関、窓、渡り廊下等の掃除を念入りに行っていました。海風を受ける本校舎は特に錆が酷く、年に一度の人の手による錆取りは私の念願でした。昨年より始めた錆取り作業のおかげで、玄関がとても綺麗になりました。お礼申し上げます。休日の児童参加にも感謝しました。

★二十二日 第3回学校運営協議会が開催されました

今回は、協議会のアドバイザーである長崎大学教育学部准教授をお招きし、本校と長崎大学との共同体験プログラム「大学に行こう」の取組や成果を中心に講話をいただきました。委員の皆様から「私も行ってみたい」という率直な意見をいただき、次年度の計画が楽しみです。大学教員との交流が何より新鮮で、興味深いことが聞けたという感想を多くの委員からいただきました。

外海黒崎小 これから

★そとめっ子発表会 12/8(日)AM ※日程については別途連絡済みです ※12/13(金)振替休日

ご家族、地域の皆様にご覧いただけるよう休日開催にしております。学校駐車場利用可です。お待ちしております。

★ネットワークパトロール(集団下校) 12/18(水)

★2学期終業日 12/24(火) 、 3学期始業日 1/8(水) ※市内共通 ※準備物等については後日連絡予定

本校 R6 重点取組[学校だより発行の都度、取組の具体について記載していきます]

特に複式学級での学ぶ様子がよくなってまいりました。各自がやるべきことを理解し進んでノート作業や話し合いをするようになりました。

ふるさと遠足での学びは、積み重ねるごとに確かなものになることを確認できました。地域と人を学ぶよい取組でした。来年度以降も実施いたします。

現在「ワンストップ挨拶」を強化中。実は本校の伝統マナーの一つなのです。最近、緩くなってきたので、校内外で自ら実践できるよう、教員も一緒に頑張っています。

ふるさと教育をとおして
自分の町・家族・学校を語り
自慢できる心と力を育てる

学力調査(4月、12月)
で前回実績を上回る

学校評価でわかった課題
「ルール・マナー」「家庭学習」
「体力向上」の改善

[学校・家庭・地域の教育目標]

校訓「じぶんから みんなと いっしょうけんめい」
の具現化をとおして、
社会を生き抜く力を身につけた
子どもを育成する。

荒天の日の運動環境を確保するために、ホールに卓球台を2台設置しました。好評のようです。場所の取り合いなどのトラブルは本校のよさです。

鉛筆の正しい持ち方、
正しい書く姿勢
の習慣化

大学体験を契機に
自分の生き方について
思いや考えを深める

鉛筆の握り方、書く姿勢について、低学年はずいぶん改善できています。

学年が上がるにつれ、握りも姿勢も気になる児童が多いです。

特に鉛筆握りは躰の賜物です。ご自宅でも必要に応じご指導願います。

本校の慢性的な課題
「書く力」「話す力」「話し合う力」
が向上する取組

10/25 無事終了。長崎大学でのまたとない学びでした。10年後の自分がどうありたいか思いに立つ貴重な体験でした。親子で将来について語り合ってください。

各学級で研究授業を実施しました。研究授業とは、担任が授業プランを詳細に企画し、全職員で参観し、指導の在り方や児童の学び方について研究するものです。個人差はありますが、本校児童の課題は「書く力」です。鉛筆の握り、思いや考えを適切な言葉や表現で正しく書き表すなど、書く力はお子さんの将来に及ぶ大切な「学力」の一つです。時にお子さんのノートなどで上達の程度をご確認ください。

～教育は何のためにあるのか～

それは、子どもの将来の自立のためです。「同級生に遅れをとらないように」「親も受けたから」「いい高校、大学にいけるように」ではなく、「どんな境遇に置かれても自分の力で幸せになれるように」「人の役に立つように」といった人間像や生き方を伝えることが、子どもには分かりやすいと思います。

目標や夢がないままでは教育を受ける意欲はわきませんし、自ら机に向かう気持ちにもならないでしょう。運動や食事も同様。先行き不透明と言われる今、進学校や大学に合格することだけを目指してきた子には、入学後バーンアウト（燃え尽き）する子がいるとよく聞きます。いわゆる「とりあえず〇〇高校(大学)に行こう」は自立しづらい目標設定なのです。憧れの仕事や大人像がある子は、学ぼうとか成長したい意欲がぐんと上がります。

「〇〇という職業に就くために勉強を頑張る」が、たとえ目標や憧れが変わっても、軌道修正は難なくできます。年末年始に親子でそういった話題で会話するのもいいですね。